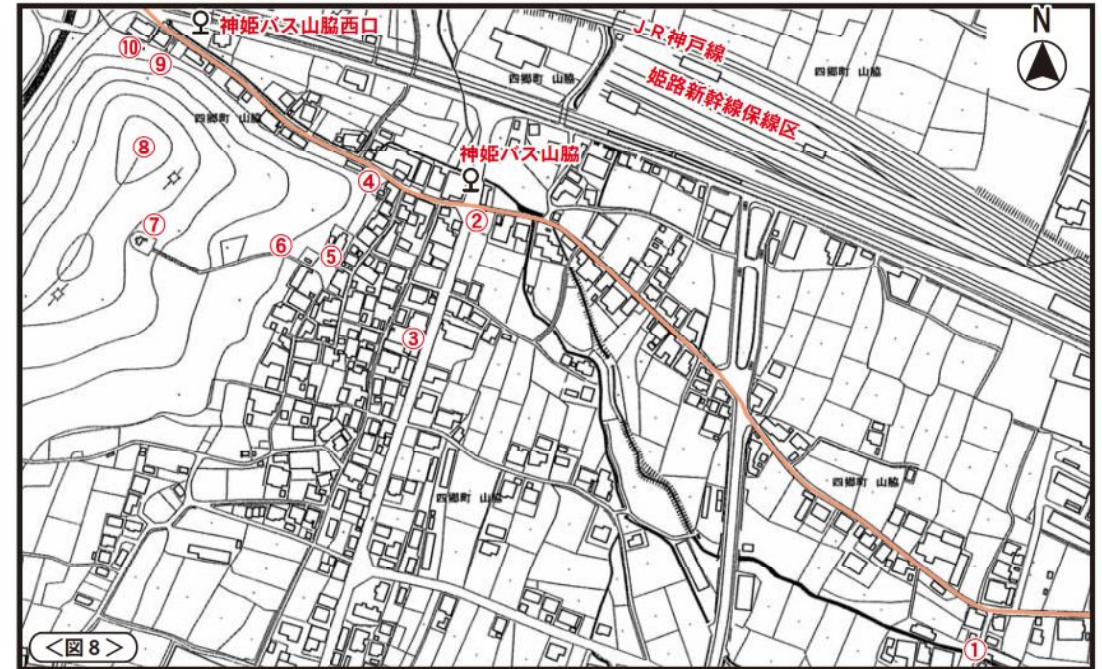
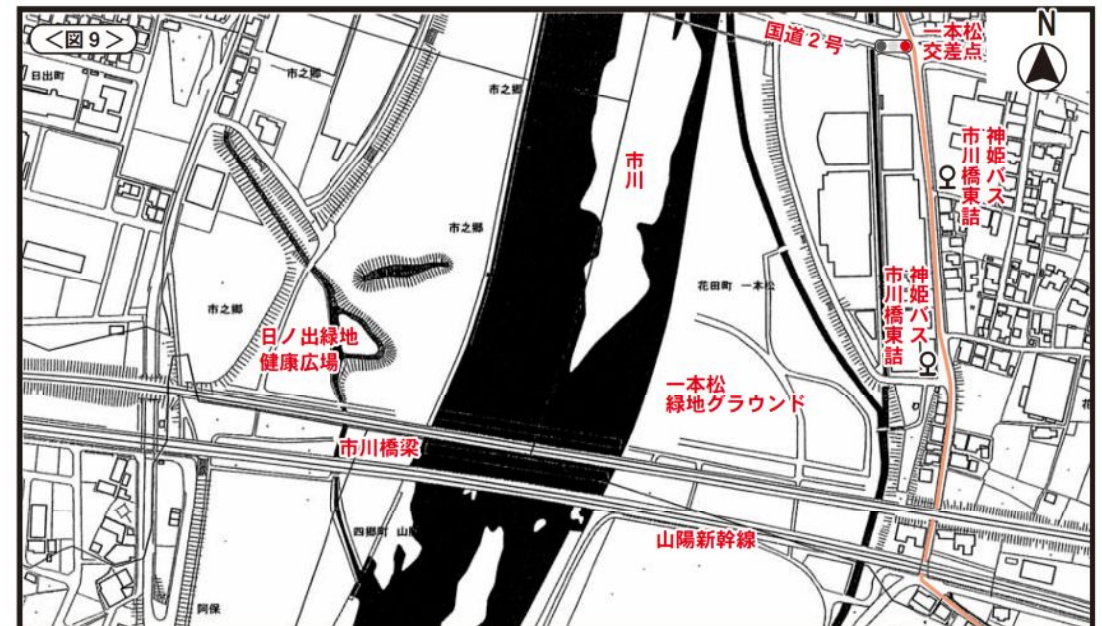




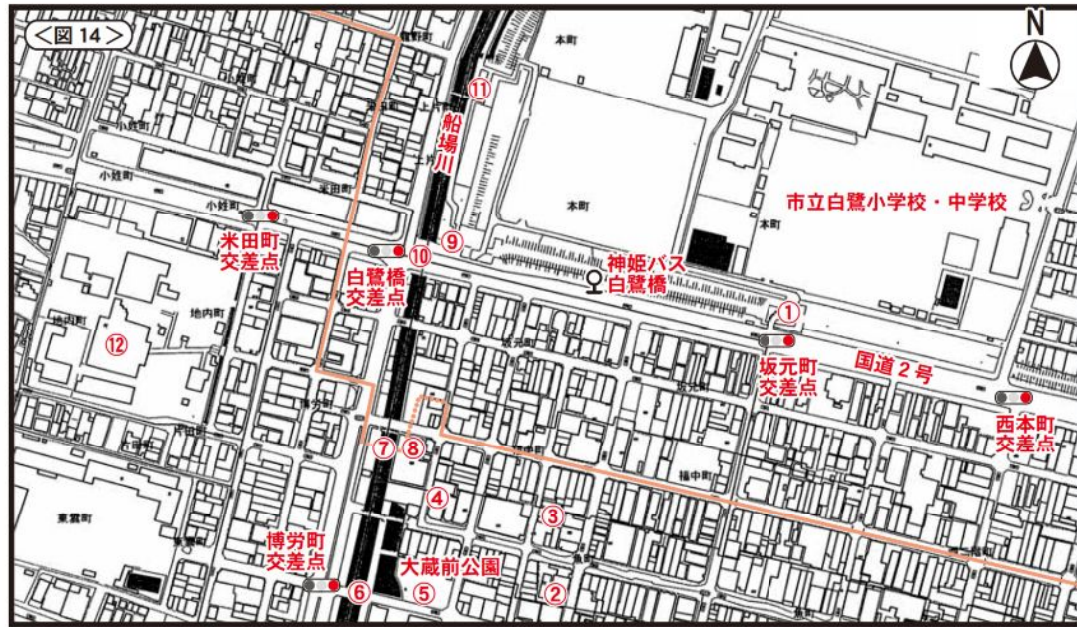
『西国街道』をたずねて その2



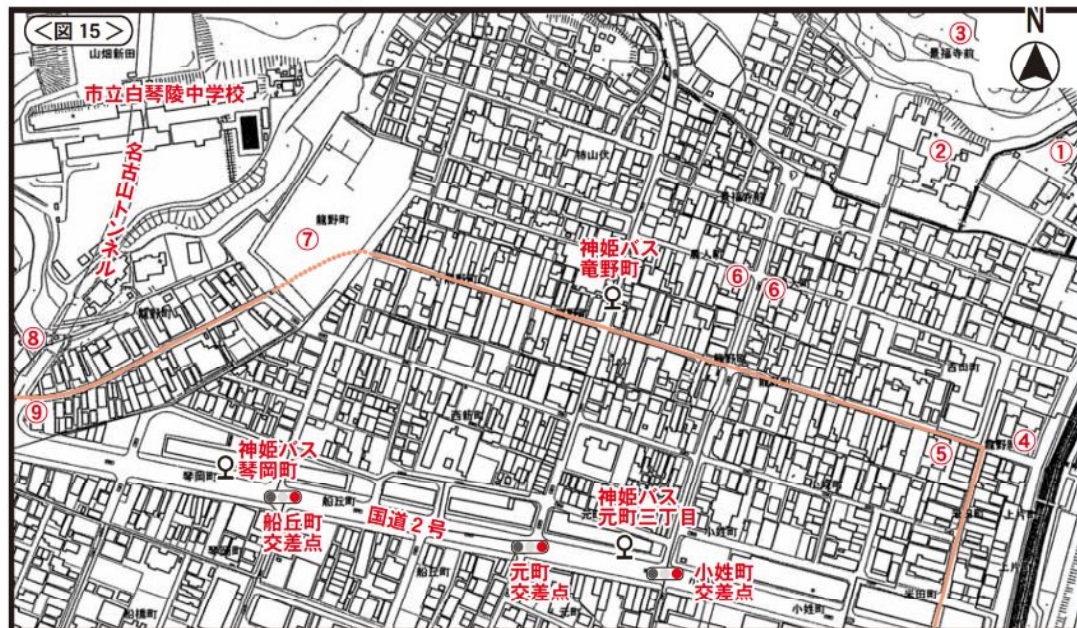
- ①四郷井と御幸橋(一本松で分水する井溝、17世紀の見野村孫大夫は四郷湯(井)元祖という。御幸橋は明治36年陸軍大演習の天皇御幸が由来) ②安政6年(1859)道標(正面「右やかちぞう」、左側面「右ヒメジ 左神戸」) ③延享元年(1744)瑞岩院石仏(⑩溺死者菩提碑西側より昭和9年移転) ④明和4年(1767)日本廻国供養塔 ⑤神明社(元禄9年(1696)石燈籠、宝暦12年(1762)石鳥居、享保8年(1723)井上千山撰俳額) ⑥飾磨津道標(播磨国府と飾磨津に向かう分岐点、百メートル南に東蔵坊供養塔) ⑦印鑿神社(国府の国印と鍵を記ったという説あり) ⑧八重鉾山構居跡(播磨鑑に赤松貞範流の御野則員(貞)の構居、御着城西側の防衛拠点) ⑨元禄4年(1691)題目塔、明和8年(1771)題目塔 ⑩宝暦5年(1755)溺死者菩提碑(寛延2年市川大洪水溺死者七回忌)



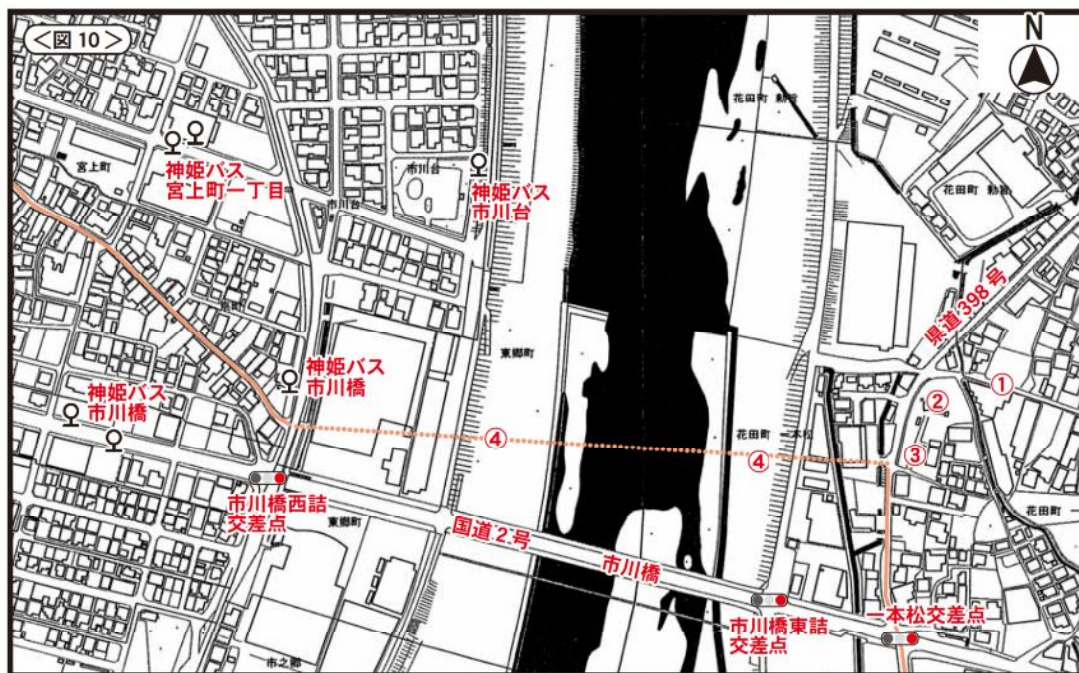
姫路藩家老河合寸翁と親交のあった幕臣大田南畝は狂歌師としても著名で、文化元年(1804)長崎奉行所赴任の道中、市川から姫路城を臨むと天守が高く見渡されて格別の風景と記す(革命紀行)。



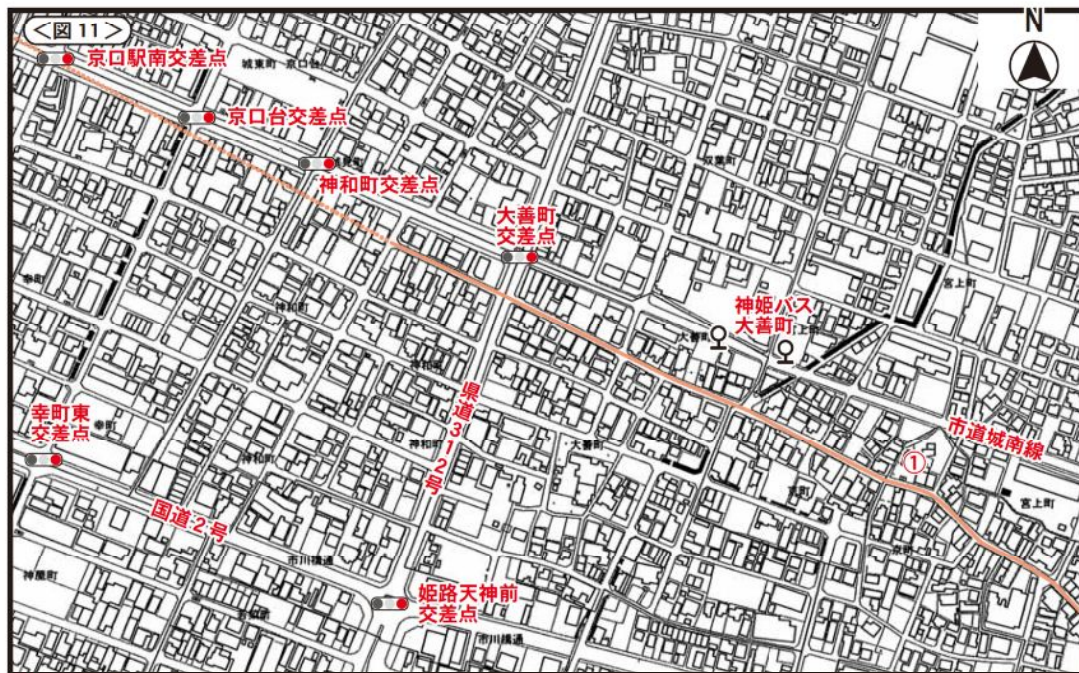
- ①姫路城「扇門」跡 ②光明寺(浄土宗、慶長年間城下町割りの際に飾磨津より移転) ③西福寺(庚申寺ともいう、浄土宗、天正年間開創) ④慈恩寺跡(臨済宗妙心寺派、赤松満祐が赤穂郡栗栖から姫路北西の西城戸に移設、慶長年間現在地、姫路空襲で全焼し山野井に移転) ⑤姫路藩勤王志士終焉之地碑(元治元年(1864)甲子獄で処刑された藩内攘夷派家臣を大正5年記念碑建立、大戦後撤去、昭和43年再建) ⑥亀の甲堰跡(本多忠政設計といわれ割石で亀の甲型の堰を築き外濠と船場川水量調節) ⑦天保10年(1839)船場八景「福中橋夕照」夕日てる福中はしに旅人八はたこ屋町をさして急かん ⑧姫路城「備前門(福中門)」跡 ⑨姫路城「埋門」跡 ⑩昭和8年白鷺橋欄干 ⑪姫路城「車門」跡 ⑫船場本徳寺(秀吉により英賀から亀山に移転した本徳寺は池田氏時代に西本願寺派の中本山、元和4年(1618)本多忠政により東本願寺派の中本山の本徳寺として創建、本堂・表門・鐘楼・大玄関は市指定、寺内に大正期に薬師山麓に建立された勤王志士の碑を昭和41年移設)



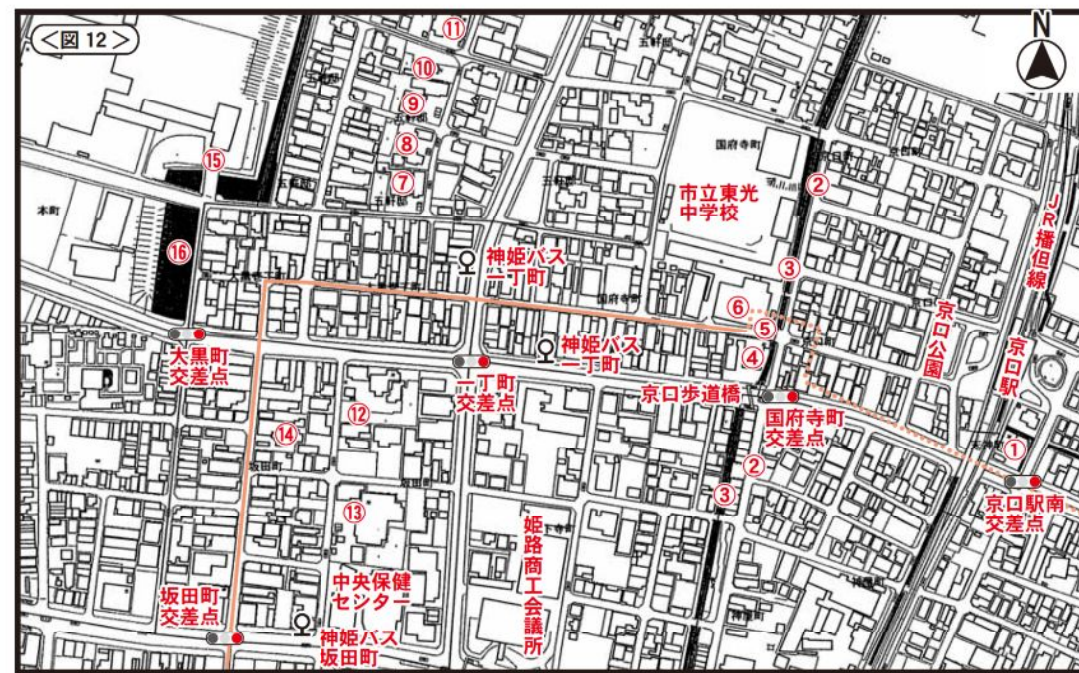
- ①見星寺(臨済宗妙心寺派、もとは西材木町、安永2年(1773)建立の寛延2年(1749)大洪水溺死者菩提碑、鉄牛和尚(塙田右衛門、福島正則旧臣で妙心寺前住、大坂夏の陣に戦死)を中興とする) ②景福寺(曹洞宗、応安2年(1369)多田庄六瀬(猪名川町)に創建、天正年間播州に移転、慶長年間坂田町に移転、元禄9年(1696)曹洞宗播磨僧録の中本山、宝暦4年(1754)現在地に移転、酒井家国許の菩提寺として酒井忠宝室喜代姫(科甲家齊の息女)と娘喜曾姫、忠續室婉姫の墓石、歴代藩主の墓石は前橋の龍海院)。船場八景「景福寺晚鐘」黄昏のかねのひびきのおとつれて花のちりつむ瑞松の山 ③景福寺山(増位山・嵐山・群鷺山とも、松平明矩墓所や姫路藩士の墓石群、永禄12年別所氏に攻撃された増位山の僧が一時退避したという) ④船つなぎ岩(もと船場川岸にあり高瀬船繋留という) ⑤初井家住宅(姫路市都市景観重要建築物等32号、歌人初井しづ枝(嫁)家) ⑥のこぎり状の町並み(城下建設の特色の一つ) ⑦飾磨県庁跡(明治9年落成式翌日飾磨県廃止により兵庫県姫路出張所のち姫路支庁、明治12年支庁廃止により飾磨郡役所)、姫路赤十字病院跡(明治25年南町より県立姫路病院移転、明治41年日本赤十字社姫路支部病院、平成13年下手野に移転) ⑧薬師堂(元禄8年(1695)播州姫路御城図に「薬師」とある) ⑨城下入口辻番所跡(龍野町六丁目端、道両側に石柱があり姫路城下入口(長州藩「行程記」、龍野町は西国街道沿い西から船場川沿いの一丁目まで城下指折りの賑わい。六丁目は姫路城御用瓦師居住)



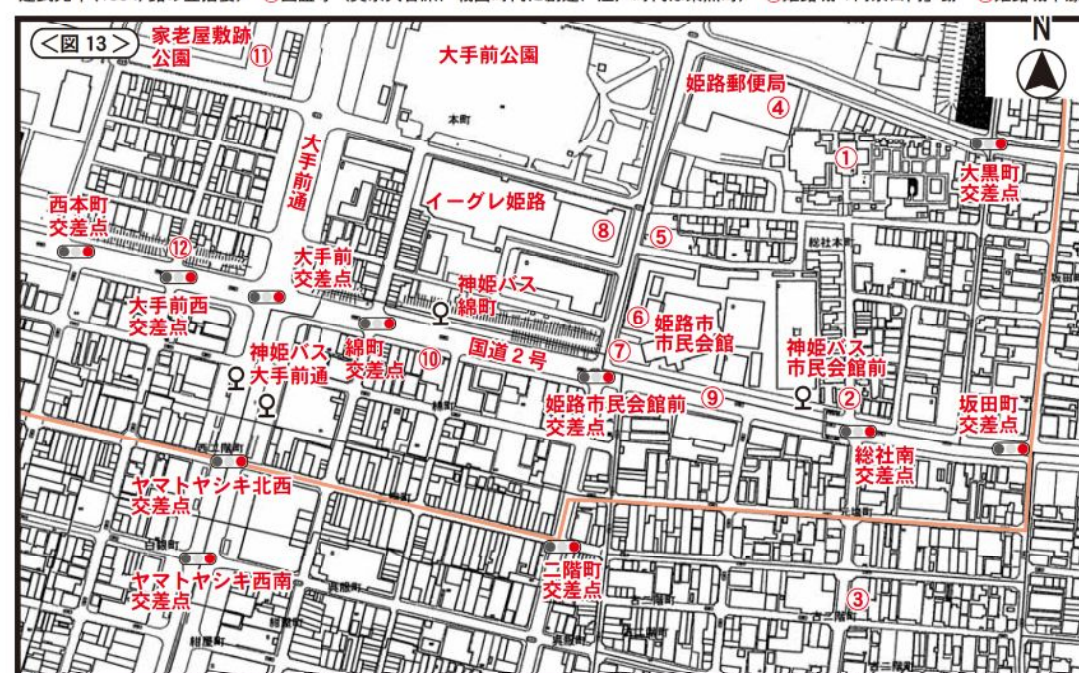
①有馬道 ②五霊天神社（もと市之郷の九所御霊天神社の御旅所、天和3年（1683）本多忠政より社地を与えられ神社建立）③明治36年道標（左丹波有馬 右大阪神戸）④市川の渡し跡推定地（江戸時代の渡守は小川村、明治4年一本松村に権利、舟渡し、干水時の歩行渡しがあり、秋の年貢米上納期は渡し場の北側に仮橋を設けたという）



①地藏院（曹洞宗、明暦2年（1656）創建、境内に天文期と推定される石仏仏）



①善休寺（真宗大谷派、江戸時代前期創建）②生野鉱山索道（明治9年（1876）開通）③姫路城外濠 ④光蓮寺（浄土真宗本願寺派、天正8年（1580）創建、昭和元年（1926）西紺屋町より移転）⑤京口交番（明治8年（1875）飾磨県第一警察出張所跡）⑥姫路城「外京口門」跡 ⑦大法寺（日蓮宗、明応3年（1494）書写に創建、のち桜町、慶長年間現在地）⑧妙行寺（日蓮宗妙顕寺派、天文20年（1551）置塩城下に創建、永禄6年（1563）河間町、慶長年間現在地）⑨法華寺（法華宗六条門流、天正年間三木より御着、慶長年間現在地）⑩本領寺（日蓮宗身延派、元和9年（1623）坂田町に創建、寛永16年（1639）北条門付近、万治3年（1660）現在地）⑪圓光寺（法華宗、文明6年（1474）飾西郡坪田村に創建、慶長年間現在地）⑫妙行寺（法華宗真門流、慶長11年（1606）現在地に建立、慶長18年（1613）銘宝篋印塔）⑬善導寺（浄土宗西山禅林寺派、寛仁元年（1017）創建、享徳2年（1453）華嚴宗より改宗、慶長5年（1600）現在地、建武元年（1334）銘の笠塔婆）⑭圓證寺（真宗大谷派、戦国時代に創建、江戸時代は東魚町）⑮姫路城「内京口門」跡 ⑯姫路城中濠



①播磨国総社射橋兵主神社（式内社、播磨国府の鎮守が国内寺社を統括する国府機関の総社とされ、中世には国府城（国衙庄）の鎮守、近世には姫路城鎮守、本殿北に播磨国内174座を祀る総社殿、一ツ山大祭・三ツ山大祭は国の記録選択）②慶安5年（1652）石造鳥居（藩主神原忠次寄進、県指定）③茶町町名碑（高尾宿跡）④本町遺跡（播磨国府遺構と想定）⑤血の池跡（かつて東側に能舞台を設け霜月大祭に能楽奉納、戦国時代に近江兵主神社の神踊りを模したという修羅踊りも毎年7月に行われていた）⑥NTT兵庫支店姫路2号館（昭和5年（1930）建設、姫路市都市景観重要建築物等）⑦姫路城「総社門」跡 ⑧藩校好古堂跡（元禄5年（1692）上野国殿橋城下（前橋）に開設、寛延2年（1749）姫路転封、総社門内に設置、文化13年（1816）現在地）⑨姫路城中濠跡（国道2号）⑩御切手会所跡（文政3年（1820）設置、藩札発行）⑪御産木綿會所跡（文政4年（1821）設置）⑫姫路城「中ノ門」跡